

A0120 国鉄モハ20系「こだま」号 8両セット

再生産

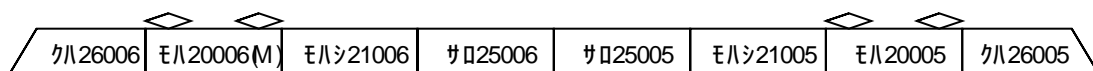
予価 : 18,400円 (税別)

JANコード: 102497 カート内入数 : 12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材 : ABS樹脂製 対象年齢 : 14歳以上 ブックケース入)
実車	1956年東海道本線の全線電化開業に伴い電車による特急列車が計画され、1958年11月1日特急「こだま」が誕生しました。特急「こだま」は東京-大阪間を日帰り可能なビジネス特急として、20系後に15系へ改称。2両を新製して、東京-大阪間を6時間50分で結びました。特急「こだま」の人気は高く1959年には12両編成となり、1960年に客車特急「つばめ」・「はと」の電車化により従来の展望車に代わるパーラーカー、クハ15が登場し、東海道のクイーンの座を確立しました。東海道新幹線開業後は、直流電化区間の特急として幅広い活躍を続けていました。特急「こだま」の栄光は、この形式の成功なくしては語れないわが国の鉄道史に輝く車両のひとつで、独特のボンネットスタイルはその後登場した数多くの車両のデザインに大きな影響を与えました。
商品概要	<p>マイクロエース特急型電車シリーズの更なる充実</p> <p>日本初の電車特急「こだま」モハ20系を多くのリクエストにお応えして再生産</p> <p>運転台脇のバックミラーは別パーツ部品による立体的な仕上がり(ユーザー取り付け)</p> <p>先頭車上部のライトはカバー無しの姿</p> <p>連結面には全周幌パーツを取り付け</p> <p>グレー台車、グレー床下</p> <p>行先サボ、号車札印刷済</p> <p>ヘッドライト、テールライト、前面愛称表示点灯</p>

ボンネット型の元祖。特急色

再生産



ライト

ライト

オプション 幅広室内灯 : G0001/G0002/G0003/G0004 , マイクロカプラー密連 : 灰 F0002

付属品 ヘッドマークステッカー、バックミラー